

令和3年度 第7回 横浜市民間資金等活用事業審査委員会 議事録	
日 時	令和4年3月25日（金）14時00分～15時15分
開 催 場 所	オンライン会議（横浜市庁舎18階 共用会議室みなと4）
出 席 者	委員：齋藤真哉委員長、原悦子委員、山口直也委員、黒石匡昭委員、吉田育代委員 政策局共創推進室（事務局）：吉原担当課長、石原課長補佐 ほか
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開（傍聴 0人）
次 第	1 議事 (1) 終了PFI事業における事業手法効果検証について（審議） (2) その他
議 事 概 要	<p>(1) 終了PFI事業における事業手法効果検証について（審議）</p> <p>事務局から資料1の説明を行い、「横浜国立科学技術高等学校（仮称）整備事業」（以下、「本事業」という。）に関する検証の審議を行った。</p> <p>○山口委員：PFIを導入した本事業の維持管理がPFI終了後の維持管理の内容にも大きく反映されていることは大きな特徴である。この点について、[4(2)]で触れられているが、当該部分の記載は「本PFI事業を通じて、民間事業者の効果的・効率的な業務実施がなされ、教育環境の質の向上が図られた結果である」とした方が適切かと思う。</p> <p>また、[5：2点目]で、「リスクに関する規定について、～適宜柔軟な見直しを行うことが望ましい。」とあるが、当該部分の記載はどのような想定か？事業実施中に見直すということなのか、今後実施する事業について見直しを図るという意味か。前者であるとする、市としてこのような対応が本当にできるかは疑問である。いずれにせよどちらのことを想定して書いているのか整理した方がよい。</p> <p>●事務局：事務局としては、内閣府から、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う損害や増加費用等の分担の在り方等の見直しについての通知を念頭に、前者を想定して記載した。一方でご指摘のとおり、実際問題として、柔軟な見直しができるかどうかということはあるので、記述は検討したいと思う。</p> <p>○原委員：[4(3)]には、予めリスクを想定して契約に盛り込んでおくべき、という趣旨の記載があるので、それを踏まえた内容にすると良いのではないかと。</p> <p>○齋藤委員長：実現可能性が低いから、書けないというわけではないと思うが、契約書に書かれていない事態が起きたときに市として対応する可能性はないということか。</p> <p>●事務局：不測の事態が起きた際には協議するということが契約にもある基本的な対応なので、内容次第だが、全く対応出来ないということではない。</p> <p>○齋藤委員長：リスクに関する規定と書くと、事前に決まっていたものを変更するというニュアンスだが、予期していなかった内容についてしっかり協議していくということを強調する書き方が良いのではないかと。</p> <p>○原委員：リスクに関する規定が当初契約から変わってしまうと、入札の公平性にも波及してしまう。規定自体を変えるというよりは不測の事態が起きたときの対</p>

応をしっかりと協議するとの内容が良いと思う。

○吉田委員：[3 (2)] で施設の特徴を記載しているが、全体の流れを考えると、地域開放の業務を当初想定していたが取りやめたことを記載し、見出しも「事業の特徴」とした方が良い。

また、「事業費の縮減」の項目では、工事費が50%縮減されたことについて触れられているが、実施報告書の内訳をみると、修繕費も想定の1/4となっている。ヒアリングによれば、事業期間を通じて施設の状態が良好であったことや、一括発注だったので、施設全体を通じてのコストが下がったという話もあった。PFIで実施したことで、想定よりも安い価格で、施設が良い状態で保たれ、生徒に快適に使ってもらったと理解している。その辺りを[4 (1)]か[4 (2)]に盛り込んだ方が良いと思う。

また、食堂については、他の高校の食堂と同様の対応、という記述だが、他の高校はおそらく単年度毎の契約であり、PFI事業は長期間の契約であることが異なる点だと思う。他の高校と単純に比較する話ではなく、「事業期間等を勘案して」といった記載を加えた方が良い。

○齋藤委員長：本事業では（長期間を通じて義務付けられており、）自由な撤退を認められていないことが厳しかったのだと思う。

○黒石委員：各委員の意見は概ね同意である。[4]に、質的にも想定していたサービス内容を上回っていたことを強調すると良いと思う。

●事務局：提案審査結果と実現した内容を改めて確認したうえで記載を検討する。

○原委員：細かい点だが、(2)第1文の主語が分かりづらいので、文章を整理して欲しい。加えて、(3)市の政策方針の変更により、業務内容が変更されたことが市の帰責であるということなので、こちらも文章を整えてもらいたい。

○山口委員：[2]事業の基礎情報について、事業期間の内訳（建設期間、維持管理期間）も記載した方が分かりやすい。

○原委員：[5：1点目]について、独立採算業務が常に問題だと読めてしまうので、『今回のように難しい設定で』独立採算業務を義務づける場合には、提案の難易度が上がると、限定した記載にした方が良いと思う。

○山口委員：本事業において食堂が独立採算であるため、[5：1点目]の記述が独立採算業務のことを強調しすぎている気がする。運営そのもので利用料金を得る混合型の場合も、基本的には民間事業者が需要変動によるリスクを取る形になる。独立採算業務に限定して書くべきかどうかは疑問である。

○原委員：これに関連した質問になるが、食堂を事業に組み込む（混合型としての実施）ことは可能だったのか？

●事務局：PFI事業としてできなくはない。ただし、他の高校との横並びで考えると、特定の食堂だけサービス購入費がかかるという設定は難しいかと思う。

○原委員：学校内の食堂だと、利用者も限られていて、事業採算性が見込めないのは今後も同じ状況である。その場合に、事業に組み込むことも対策としてあり得るのではないか。

●事務局：【5】はあくまでも今後のPFI事業等実施に向けてということなので、

必ずしも高校の食堂に限定の議論でなくても良いと考えているが、記載は検討させて頂く。

○原委員：広がりのある話に出来るのであれば、山口委員がおっしゃった独立採算以外の含みを持たせる表現にできるのではないか。

○齋藤委員長：山口委員と原委員の御意見を盛り込むのであれば、項目を3つにした方が良い。追加項目は、企業努力によって収益を上げることが困難な場合は独立採算とすることは慎重に検討すべきという趣旨になるかと思う。

○山口委員：本事業の食堂は利用者が限定されていて経営努力が発揮しづらい独立採算業務であった。こういった事業については採否を慎重に検討すべきという話は分かる。経営努力が発揮できるような場合は、積極的に活用していくという観点は必要になってくる。書くのであれば、独立採算業務全般と取られないよう、経営努力が発揮しづらい場合という限定的な書き方にした方が良い。

○吉田委員：終了後の維持管理は、食堂を除く維持管理を包括委託しているという理解だが、もう少し具体的な内容や経緯を記載した方が良いかと思う。本事業を実施した結果、次期事業にどのように活かされたかが分かると良い。[5]に書くことでも良いと思う。

●事務局：[5]は、今後のPFI事業等の実施に際してという趣旨でまとめたいと考えているので、今の御意見は[4(2)]に書き加えさせていただきたい。

○齋藤委員長：(本検証報告書はあくまで本事業に関することだが、)現在(次期事業について)どうなっているかということまで記載することは位置づけとして問題ないか？

●事務局：本事業の補足情報ということで違和感はないと考える。

○齋藤委員長：本日の意見を踏まえ、事務局には資料の修正をお願いする。修正案については、事務局と私の方で調整するので、公表前に委員の皆様を確認してもらおうということによろしいか。

○委員一同：了承。

○齋藤委員長：それではそのようにさせていただく。

(2)その他

<今後の終了PFI事業について>

●事務局：これまで3件の終了PFI事業で効果検証をして頂いたが、次は4年後に『横浜市瀬谷区総合庁舎及び二ツ橋公園整備事業』が終了する。これまでの検証を踏まえて、どのような検証方法が良いのか改めて相談させて頂きたい。

<PPPプラットフォームについて>

●事務局：来年度にPPPプラットフォームを立ち上げる予定となっている。今後も開催状況や取組など適宜、情報提供させて頂きたいと思う。

○黒石委員：このプラットフォームは市内企業向けということか？

●事務局：市内企業育成を主な目的の一つとしているが、市外企業にも積極的に参加してもらいたいと考えている。

○山口委員：PPP/PFIを想定している事業の目出しをしていかないと、民間が参加

	<p>するインセンティブが働かないと思うが、どのように考えているか。</p> <p>●事務局：他都市でPPPのショートリスト・ロングリストなどの取組を行っているが、そのような情報提供も積極的に行いたいと思っている。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>資 料</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 会議 次第</p> <p>(2) 委員会 運営要綱</p> <p>(3) 諮問文</p> <p>(4) 資料1：PFI事業手法効果検証報告書（案）[本文及び別紙]</p>